

# 長期戦略:テーマ 「学修支援の充実」

提出日 2019年 8月 28日

担当部署

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	宮田教務機構長 (教務機構長)	実施計画の 担当部署	教務機構、 <del>日本語教育センター</del>
-----------------------	--------------------	---------------	----------------------------

### 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(13)-① ライティングセンターの設置 <del>ライティングサポート体制の整備</del>	(2020)年度	(2022)年度	必要なし	不要
<b>内容</b> 本学学生の学術的な文章作成能力(以下、ライティングスキル)の修得を支援するための各種施策を実施し、論理的思考力や表現能力を身に付けた「自立した書き手」を育成するために、教務機構の下に「ライティングセンター」を設置する。主なセンターの事業として、以下の2点を挙げる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>ライティングスキルを育成する授業科目の企画・立案・提供               <ol style="list-style-type: none"> <li>全学科目としての学部学生向け授業科目、②学部と連携した学部学生向け授業科目、③大学院学生向け授業科目</li> </ol> </li> <li>ライティングスキル修得を支援するための各種施策の企画・立案・実行               <ol style="list-style-type: none"> <li>学部学生向け対面指導、②各種セミナーの実施、③教育指導員養成研修の実施、等</li> </ol> </li> </ol> また、上記の事業を達成するため、センターに任期に定めのある教員及び助手を数名配置する。配置人数は、センターが提供する科目及びクラス数、対面指導のセッション数、教育指導員の採用者数、センターの拠点数、ニーズ等を勘案して、大学・学院と相談の上、決定する。なお、センターで対面指導を実施するために、本学大学院学生を教育指導員として配置する。なお、教育指導員は主に博士課程後期課程学生及び博士課程後期課程修了者からの採用を想定している。センターでは、授業科目での学びを「基礎」、対面指導を「応用」とする学びの循環を発生させることで相乗的な効果を高めていく観点から、センターの開設にあたっては正課科目と連携し、必要に応じて担当教員から学生に対面指導の利用を促す仕組みを構築する。また、対面指導を担う教育指導員を養成するために、大学院学生向けの授業科目も新たに開設することで、大学院学生のライティングスキルも向上させるとともに、教育指導員として学部学生を指導することで教育経験を積む機会にも繋がるなど、複合的な相乗効果を狙う。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	対面指導で実施されたセッション数・稼働率・役立ち度	$\text{稼働セッション数(延べ)} \cdot \text{稼働率}(\text{稼働セッション} \div \text{総セッション}) \cdot \text{役立ち度(アンケートで集計)} / \text{年}$		
指標2	学部生向け科目の履修者数・充足率・満足度	$\text{学部学生向け科目の履修者数} \cdot \text{充足率}(\text{履修者数} \div \text{履修定員}) \cdot \text{満足度(授業調査で集計)} / \text{年}$		
指標3	大学院生向け科目の履修者数・充足率	$\text{大学院生向け科目の履修者数} \cdot \text{充足率}(\text{履修者数} \div \text{履修定員}) / \text{年}$		

## 目標1&lt;指標1&gt;対面指導で実施されたセッション数・稼働率・役立ち度

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	—	セッション数:700回 稼働率:30% 役立ち度:70%	セッション数:1000回 稼働率:40% 役立ち度:75%	セッション数:1200回 稼働率:50% 役立ち度:80%
実績				

## 目標2&lt;指標2&gt;学部生向け科目の充足率・履修者数・満足度

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	充足率:60% 履修者数:324名 満足度:4.2	充足率:70% 履修者数:490名 満足度:4.4	充足率:80% 履修者数:560名 満足度:4.5	充足率:90% 履修者数630名 満足度:4.6
実績				

## 目標3&lt;指標3&gt;大学院生向け科目の充足率・履修者数

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	充足率:60% 履修者数:24名	充足率:70% 履修者数:42名	充足率:80% 履修者数:48名	充足率:90% 履修者数:54名
実績				

## 2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ライティングサポート体制の整備	策定段階	・ライティングセンター構想検討、構想案策定・確定 ・ライティングセンターサポ ート体制準備	・ライティングセンターサ ポート体制教員人事 ・センター助手、スタッフ 採用人事	ライティングセンターサ ポート体制対面指導開 始	ライティングセンターサ ポート体制運用	ライティングセンターサ ポート体制運用体制見 直し(セッション数、拠点 数)
	2020年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	ライティングセンターサ ポート体制運用体制拡 充	ライティングセンターサ ポート体制運用	ライティングセンターサ ポート体制運用	ライティングセンターサ ポート体制運用体制見 直し	
	2020年3月 末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
科目開講 教育指導員養成	策定段階	・学部・大学院の正課科 目改編・新設	・学部・大学院の正課科 目の開講開始 ・教育指導員養成研修 開始	・学部・大学院の正課科 目の拡充 ・教育指導員採用開始、 養成研修実施	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用、養成 研修実施	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用拡充 検討、養成研修実施
	2020年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用拡充、 養成研修実施	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用、養成 研修実施	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用、養成 研修実施	(以降は、ニーズ等によ り拡充を検討) ・教育指導員採用拡充 検討、養成研修実施	
	2020年3月 末段階					

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円

2020年度 承認

(2021)年度

(2022)年度

4年目以降

非公開

人員・人件費 単位:万円

2020年度 承認

(2021)年度

(2022)年度

4年目以降

非公開

## 4. 進捗状況・得られた成果

(2019) 年度	ライティングセンター設置構想 WG を立ち上げ、モデルとなる早稲田大学に視察に行き、設置構想案および規程案を作成した。教務委員会、大学院教務学生委員会の議を経て、7月の学部長会において、ライティングセンターの設置構想案および規程案について承認が得られた。今後、9月の大学評議会、理事会を経る予定である。理事会で設置が承認された後、2020年度から採用する任期制教員の募集に取り掛かる予定である。センターの設置場所については、大学図書館地下1階にあるアルカディア（喫茶）の跡地を活用できるよう調整中である。
( ) 年度	
( ) 年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

(2019) 年度	新規採用予定の任期制教員とともに新設科目の設計および科目運営上の諸課題への対応が必要となる見込みである。また、教育指導員の確保や対面指導上の諸課題について検討する必要がある。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	<p>ライティングセンターの設置を認めます。</p> <p>ライティングセンターの設置に伴う備品費用は、保留としますが、ライティングセンター改修工事費用が定まった段階で、将来構想推進 WG での承認を得た上で、予算外申請してください。</p> <p>ライティングスキル育成のための授業担当および対面指導担当の教育特別任期制教員各 1 名の配置を認めます。</p> <p>専任職員 1 名についても配置する方向とし、人事部にて対応します。</p> <p>また、ライティングセンター運営のための役職手当を認めますが、運用経費についてはガイド内で対応してください。</p>
( ) 年度	